

2019年2月 (No.356)

主な内容とページ

半導体市場、調整は大幅か	1
機器の国内生産は堅調だが、分野毎で差	4
調整はこれから本格化	4
貿易戦争の非当時国としての日本	5
日アジア欧州半導体企業 18年度第4四半期業績	6
米半導体企業、見通しは不確かだが、結果はOK	10
インテルの新 CEO	12
統計不正問題(SRL だより).....	14

半導体市場、調整は大幅か

予想通りに半導体市場は昨年末に調整に入った。

1. 足元の第1四半期は調整が続行、明るい材料は少なく、市況ほどの程度まで悪化するか、焦点となりそう。
2. 世界的には、半導体ブームの反動が避けられず、加えてスマートフォン、サーバーなど主要市場の停滞でメモリを主体に大幅な調整に入る可能性がある。
3. わが国半導体は主力市場への依存度合が低く、ブームも小粒だったことから今回の調整の影響は軽微となりそう。

統計不正問題

国会で統計の集計方法などをめぐって与野党の争点となり質疑が展開されている。われわれの仕事も統計と密接な関連があるが、統計自体は、宗教や芸術と同じで、人によって接し方は様々。注目している場合もあれば存在すら知らず無視していることもある。

統計は傾向や変化を示すが、真実は教えてくれないともいわれる。出来る限り多くの統計を使い、比較検討することで、より実態に近づく。この過程では、全てが間違っていることもあれば、その反対もあり得る。だから「白」を「黒」とすることも出来る。最後は、それぞれ個人が、自らの責任で、判断する、しかないだろう。

話はそれるが、弊社の財産の一つは、新聞、雑誌のスクラップで、その量は膨大。創業来、キーワード別に収集、ファイルしており、その作業は1日たりとも手を抜いていない。最近はネットで、かなり補えるようになったが、まだ充分ではない。何かを調べるにはまずスクラップを調べる。地味だが、仕事の基本と思っている。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL(半導体総合研究所)ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL(半導体総合研究所)の解釈と分析で表現したものです。

2019年 著作権所有 SRL(半導体総合研究所)

SRL Monthly Report

2019年2月(毎月1回発行)第30巻2号(通巻356号)

発行元:株式会社 SRL
〒188-0014 東京都西東京市芝久保町 3-1-35
TEL 042-439-5317 FAX 042-439-5023
編集・発行人/大竹 修

SRL Monthly Report

February 2019, No.356

Semicon Research Ltd.
3-1-35 Shibakubo-Cho, Nishitokyo-City, Tokyo 188-0014
Japan Mail: info@semiconresearch.co.jp
Publisher/Editor Osamu Ohtake

© (株)SRL 2019

購読料金1年分(12号)98,000円(税別)